



2025年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社エフティグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 安藤 暢彦
(東証スタンダード・コード: 2763)
問 合 せ 先 広報・IR担当
電 話 03(5847)2777(代表)

中期業績見通しおよび配当方針の変更に関するお知らせ

最近の業績動向ならびに事業環境を踏まえ、2026年3月期から5カ年の中期的な業績見通しを算出いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、業績見通しをふまえ、当社の配当方針を変更することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 中期業績の見通し

(単位: 億円)

	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期	2030年3月期
売 上 収 益	345	327	313	298	286
営 業 利 益	76	72	69	65	62

当社は1985年の設立以来、中小企業法人・個人事業主向けに、情報通信機器および環境関連商材等の販売・施工・保守等の法人ソリューション事業を中心に成長してまいりましたが、長期安定的な収益を獲得することで持続的に企業価値を向上させるべく、2015年以降は光回線サービス「ひかり速トク」「FT光」、節水装置「JET」、小売電力サービス「エフエネでんき」「FTでんき」をはじめとした、月額課金型の自社ストックサービスの企画・開発・販売・コンサルティング等のネットワークインフラ事業の拡大に注力しつつ、当社グループの運営体制について最適化を図ってまいりました。

2025年3月期の業績予想につきましては、別途公表のとおり、営業利益が過去最高となる見通しです。これはストックサービスに注力したことによる安定的な収益の確保に加え、連結子会社の株式譲渡等を通じた事業の選択と集中、さらには継続的なコスト削減による経営のスリム化を推進した結果によるものです。

一方で、小売電力サービスにおける電力卸売市場価格の不安定な状況を踏まえ、新規顧客獲得を抑制していることなどから、売上収益は減少傾向にあります。また、次なるストックサービスの開発をはじめとする新規事業にも注力しておりますが、現時点では安定的な収益の確保が見込まれる段階には至っておりません。

こうした状況をふまえ、2026年3月期からの5カ年にわたる中期的な業績見通しを算出いたしましたので、お知らせいたします。

(注) 上記の業績見通しについては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当方針の変更

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置づけており、配当は各期の連結業績および内部留保を総合的に勘案した上で、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目途に、将来の事業展開等を総合的に考慮し決定しております。

しかしながら、前述のとおり、現時点における今後の業績は減少傾向が見込まれることから、従来の配当方針を変更し、各期の業績の進捗を考慮しながら配当を決定する方針とさせていただきます。

これに伴い、2026年3月期以降の配当予想の公表については期初時点では未定とし、期中の進捗状況を踏まえて決定・公表をさせていただく見込みです。

以 上